

## “セーフティネット機能を発揮” 収穫量が大幅に減少した養殖モズク生産者を迅速に支援

沖縄振興開発金融公庫 宮古支店（支店長：玉那覇通男）は、冬場の長雨や日照不足による発育不足から、収穫量が大幅に減少した養殖モズク生産者の方々を対象に、融資等の金融支援を行いました。

### 1. 関係機関と連携し、融資制度等説明会を開催

宮古支店では、宮古島漁業協同組合や沖縄県、宮古島市と協力・連携し、6月7日に融資制度等説明会を開催。その後、17名の生産者と個別相談を実施しました。

#### ▼ 説明会の様子（場所：宮古島漁業協同組合）



### 2. 養殖モズク生産者に対する金融支援の実績

宮古島市から罹災証明を受けた41名の生産者のうち、6月末現在の農林漁業セーフティネット資金の融資実績は、15先、3,150万円（210万円／先）となり、うち2先については、融資と併せて返済条件の緩和（1年間の元金返済猶予）を実施しました。

### 3. セーフティネット機能を迅速に発揮

今回の対応に際し、支店職員に加え、本店職員も応援に当たり、説明会から融資、返済条件緩和の実行までの手続きを約1カ月間で集中して対応できる態勢をとりました。

当公庫は、今後とも、自然災害などの影響を受けた方に対して、迅速かつきめ細かやかな対応に努め、政策金融機関が有するセーフティネット機能を引き続き発揮してまいります。

#### （参考）農林漁業セーフティネット資金の概要

ご利用いただける方	ご融資の限度額
災害等により被害を受けた経営の再建に必要な資金又は社会的、経済的な環境の変化等により資金繰りに支障を来している方など	600万円 （※）既往残高と通算

記事に関するお問い合わせ

沖縄公庫 宮古支店 業務課  
TEL : 0980-72-2446